露の浜での海水浴

（１）期　日　６月１４日～７月３０日
（２）場　所　露の浜
（３）内　容　水泳指導・記録会

塩津小学校にはプールが無く、その代わりに塩津地区の唯一の浜である露の浜において海水泳を行っている。

６月１４日の浜掃除には、地区の方々等多くのボランティアの方にお世話になり、児童も一緒に浜の大掃除を行った。この活動は、日頃お世話になる露の浜への感謝の気持ちを表している。児童は、自分たちのために大勢の方が関わってくださることへの感謝の気持ちや地域に貢献しているという意識を持つことで、自らが町づくりの一員となっていることを自覚し、規範意識及び自尊感情を高めている。

また、６月２１日の海開き式にも参加し、海水泳の無事を祈った。その後、体育の授業として海で水泳の練習を行い、夏休み中も「すくすく水泳」と名付けて水泳指導を行った。最後の日には、記録会を行い、飛び込み台まで泳ぐことにチャレンジした。みごと飛び込み台まで泳げた児童は、大きな自信を得たようだ。

このように、故郷の海で泳いだり遊んだりすることは、故郷を愛する心情を養うことはもちろん、自然を大切にしなければならないという環境の保全について考える良い機会にもなっている。

いな踊り

（１）期　日　年間を通して（１月３１日県民俗芸能祭で発表
２月７日海南市民俗芸能祭で発表）

（２）場　所　紀南文化会館・交流センター・学校等

（３）内　容　いな踊りの発表

「いな踊り」は、約３５０年前に始まった「ボラ」の幼魚である「いな」の大漁を願う漁民たちの思いを踊りにしたもので、この地域の伝統芸能として、今日まで踊り継がれてきている。

児童は、この踊りついてはごく当たり前のこととして、自然に習い覚えて踊っている。今年も保存会の方に来ていただき、練習を重ねてきた。また、総合的な学習の時間において、その踊りの由来や、昔の暮らしについても学習し、自分達の地域について理解を深めることができた。児童に、故郷に対する誇りや愛情を持たせ、それを引き継いでいこうとする責任感を培う意味でも、この取組は大切にしたいと考えている。今年度は、１月３１日の県民俗芸能祭及び２月７日の海南市民俗芸能祭において、踊りを披露し喝采を浴びた。

三和会との交流

（１）期　日　１０月１７日・１１月２７日
（２）場　所　学校
（３）内　容　ゲートゴルフ・世代間交流

本校は、地域の老人会である三和会の方との交流を大切にしている。１０月１７日の地域ふれあい活動「ゲートゴルフ大会」では、児童は小学校の南側にある緑公園で三和会の方にゲートゴルフを教えていただきながら思いっきりプレーをした。やり方を親切に教えていただくことで、低学年の児童も高学年の児童と共にゲームを楽しむことができた。

また、１１月２７日に世代間交流として三和会の方を学校に招き、共に花植えをしたり給食をいただいたりして児童との交流を深めた。児童だけでは難しい花植えも、三和会の方に土の合わせ方や植え方のこつを教えていただくことで上手に植えることができた。一緒に給食をいただくことでより一層ふれあいを楽しむことができた。

これらの交流を通して高齢者の方への尊敬の気持ちを持つとともに、コミュニケーションを図ることの楽しさとその力を得ることができた。今後も継続していきたいと考えている。

世代間交流

ゲートゴルフ大会